

平成29年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録【こども環境科・介護環境科】

日 時 平成29年5月25日(木) 16:30～17:20

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 5階 第5講義室

出席委員 小野 信一 (釧路市東部南地域包括支援センター センター長)
工藤 映美 (釧路市私立幼稚園連合会 理事・認定こども園よしの 副園長)
諫山 邦子 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授)
伊東 義光 (日本介護福祉士会北海道支部根釧地区支部 支部長
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長)
住尾 盛 (釧路市PTA連合会 会長・地域住民)

出席職員 種市 司 (釧路専門学校 校長)
氏原 陽子 (釧路専門学校 こども環境科学科長)
渡邊 千華子 (釧路専門学校 介護環境科学科長)
田仲 京子 (釧路専門学校 こども環境科教員)
杉村 典史 (釧路専門学校 教務主任)
若生 みゆき (釧路専門学校 事務主任)

欠席者 洒井 恵 (釧路市私立保育園連合会 副会長・釧路あさひ認定こども園 園長)
阿部 みつゑ (釧路専門学校 副校長)

配付資料 ○議案書(委員名簿・次第)
○平成28年度 第2回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録

開会宣言(杉村)

1 開会

- (1) 挨拶(種市)
- (2) 司会者の決定
・小野委員が司会者に選出された

2 次第

- (1) 今年度の委員と学校職員の紹介
- (2) 前回議事録の確認(若生)
資料 平成28年度 第2回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録 参照

(3) 平成28年度の学校関係者評価結果について

①報告

- ・「教育理念・目標」の部分で学生・保護者への周知が低い。
- ・幅広く広報活動した方がいいのでは?と意見を頂いた。地域や各高校に対して働きかけが必要と感じる。
- ・授業、行事の充実、地域貢献活動を進めていく中で、評価してもらうことが重要。
- ・学校運営、職員の処遇改善、効率化が少し低い。
- ・教育課程については、重厚な内容だと自負している。体験を重視した科目を今後も継続していく。
- ・成績評価や単位認定などの基準作りを推進していく。
- ・校舎の老朽化について、改善が必要。

②質疑応答

学校運営について

小野委員から質問

介護の現場では処遇改善制度があるが、教育関係者に対する処遇改善の制度はあるのか？

学校側から回答（田仲）

現在は無いが、できるとありがたいと思う。

学習成果について

諫山委員から質問

退学率の軽減について、最大限努力していると思うが、この数字以下にする事は難しいのか？

学校側から回答（氏原）

退学届の提出後すぐに受理するのではなく、まずTAと面談（複数回行う場合あり）、次に保護者面談を行い、退学後のリスク等の説明を行う。時間と人員を割いて面談をする。何かアドバイスがあればお願いしたい。

諫山委員から質問

再入学のシステムはないのか？

学校側から回答（渡邊）

学則上は退学時より1年以内であれば再入学は可能だが、実際に再入学したケースはなかった。介護は受験資格になるので、退学率の予測がつかない。

小野委員から質問

単位は活きるのか？

学校側から回答（渡邊）

実務者研修に科目履修が活かせるようなので、そちらに移行できるような制度を作成できたらと動いている。

小野委員から意見

再チャレンジできるような制度があればいいと思う。

諫山委員から質問

どれくらいの期間を経て、除籍処分になるのか？

学校側から回答（若生）

金銭的な問題で休学の場合、まず休学前に滞納金を支払う誓約をかわしている。

小野委員から意見

社会的制度も色々整えなければと思う。社会福祉協議会とも連携できればいいと思う。

学生支援について

小野委員から質問

生命保険協会の修学資金についてはどうか？

学校側から回答（氏原）

現在1名の希望があるので、推薦予定。

（渡邊）

北海道介護福祉士修学資金の枠を5名分頂いた。道内自治体からは数か所あるが、釧路市は行っていない。

学生受け入れ方針

伊東委員から質問

平成25年を境に学生数が減少している。増やす取り組み、学校訪問等していると思うが、市内のみの活動か？

学校側から回答（種市）

釧路市をはじめ、道東を中心に訪問している。

工藤委員から質問

修学資金を受けられる条件は？

学校側から回答（渡邊）

債務状況、志望動機、卒業後の就業年月、地域など条件がある。修学資金と奨学金の区別がつかない学生がいる為、今後も説明が必要。

伊東委員から質問

高校訪問時は、修学資金制度の話はするのか？

学校側から回答（渡邊）

道や自治体の予算が出なければ、該当年度に制度が利用できるかわからない為、それまでは宣伝できない。

住尾委員から質問・意見

実家からの通学生はどのくらいいるのか？地域のボランティア活動にも出してもらえたらと思う。町内会等で、介護（保育も）の知識をフィードバックしてもらえれば、地域の中で不足しているところが補えるのではないかと？地域に入り込んだ学校になれると思う。

また、保育士の処遇も低いのではないかと。求人票を見て、都市圏に比べて地元が厳しいように感じる。

学校側から回答（氏原）

学年によって大きく違うが、3分の2程度釧路が地元。

（渡邊）

今年の1年は全員市内。2年生は、4分の3が釧路市内。町内会とのコラボレーションできればいいと思う。学校祭でもなにかできればいいと思う。

小野委員から意見

若い世代の地域に対する願い・思いを生かせていない。地域懇談会など積極的に声をかけて頂きたい。

諫山委員から意見

地元意識があり、戻って行く学生もいるのかと思う。道東のある町には高校がなく、その中学生は都市部の高校に出てしまう。中学生の動向を調査し、ターゲットを絞って広報をしていくのもいいと思う。

学校側から回答（渡邊）

釧路管内の中高生はインターンシップ等で体験授業を実施しているが、地域によっては盲点だった。リサーチして広報を行っていききたい。

工藤委員から意見

人口が多い地区と過疎化している地区があり、自身の幼稚園周りでは子どもを見かけない。町内会活動に参加していたが、できない状況にある。町内会活動はどうなっていくのか？という不安がある。

伊東委員から意見

市内唯一の養成校になる為、学生が増えて欲しい。介護をやりたいという子は、地域の財産ととらえている。入学してもらえるような空気を、自分たちも作れば良いと思う。

住尾委員から意見

卒業式・入学式に参加した。入学式は初々しく、やる気を感じられる式だった。卒業式は勉強してきた成果、自信がみられた。先生方も自信と誇りをもって欲しい。それに見合う処遇改善を期待している。

工藤委員から意見

身内の在籍生が「学校が楽しい」と言い、生き生きとしていた。学びたいという気持ちがあると学校も楽しい。そのような声を発信できるのであればいいと思う。

諫山委員から意見

PRの手段としてYoutube等使えるかもしれないと思う。有効手段はわからないが、応援している。

小野委員から意見

釧路唯一の介護福祉士養成校になるので、応援していく。

閉会の挨拶（氏原）

以上
（記録：若生）